

技術士包装物流会 (JPLCS) だより

当会は、包装および物流に関連した研鑽、懇親、情報交流を行うとともに、技術向上の各種提案やコンサルなどの活動を通じて包装物流の高度化に貢献しているプロ集団です。時流に即した今日的なテーマを取り上げて定期的な研究会を開催しており、終了後には交流と人脈形成のための懇親会もあります。会員以外(一般)の方の聴講も歓迎しますので、ぜひご参加ください。

多様なニーズに合わせた最適な段ボール提案の取り組み ～心までをも包むセツカートンのパッケージ～

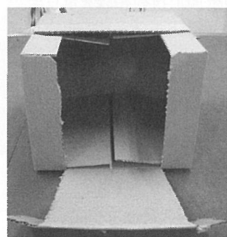
段ボールメーカーであるセツカートン(株)に勤務している木野元朝幸(きのもと・ともゆき)と申します。2023年12月16日に行われました、技術士包装物流会関西支部研究会での標記講演について紹介します。

※本誌2021年10月号の本コラムにて紹介した内容は割愛しております。

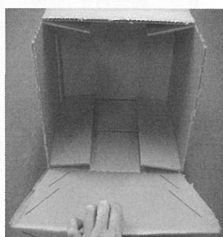
セツカートンでは、顧客のニーズに合わせた最適なパッケージ提案に取り組んでおり、様々なご要望を最善の形でご提案できるように努めております。今回は、主な提案事例を記載いたします。

1.SRP(シェルフ・レディー・パッケージ)

段ボールをミシン目やジッパーで簡単に開封でき、段ボールごと商品陳列できるSRPをご紹介します。ここに挙げる二つの写真はA(JIS 0201)式SRPです。



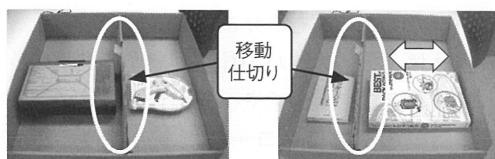
特許6531037号



特許6764659号

2.通販用ラックケース

通販の流通センターのラックに設置し、商品を保管。商品量やサイズに合わせて移動できる仕切りで、空白スペースを有効活用できます。



仕切りの移動

3.食品流通用ワンウェイトレー 「スマイルトレイ」

プラスチック通函トレーに替わる段ボール製ワンウェイトレー。使い捨てのため衛生的であり、洗浄などの必要がなく管理が簡易です。

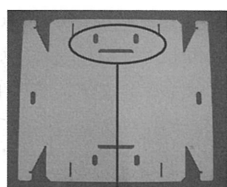
形状は米国の失効特許(US3181771)。

材質: LB170×MC120×LB170 A/Fで、内容物質質量10kgの場合、6段積みまで可能となっています。

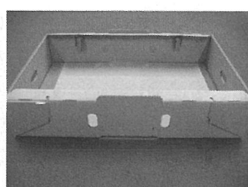
プラスチック通函トレーを10回使用する場合、トレー生産時のCO₂排出量は1.63kg-CO₂/箱ですが、段ボール製ワンウェイトレーでは0.28kg-CO₂/箱となり、82.8%削減できて環境にも優しいです。

※通函10回使用時。全国段ボール工業組合連合会「段ボールとプラコンの比較資料」より。

展開した形状と、使われる方々の「笑顔」を願い「スマイルトレイ」と名付けました。



展開(スマイル状)



スマイルトレ組み立て後

4.デザイン提案

段ボールの形状だけでなく、デザイン提案にも取り組み、商品が売れる段ボールケースの提案を行っています。

アパレル通販用段ボールケースの提案では、仕事や家庭を持つ、おしゃれ好きな女性共感できるデザインを提案し、採用され、SNSでも好評をいただいています。

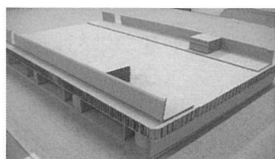


デザイン提案事例

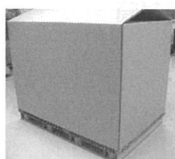
5.他社とのコラボ

■(株)昭和丸筒「APPA(紙管)パレット」

紙製パレットの桁材に紙管を使用したパレット+段ボールケースの提案。150kgの台車を載せても問題ありません。



APPAパレット



外箱

■日本マタイ(株)「アクアコート」

段ボール原紙に機能性水性コートを塗布し、新たな付加価値を加えた段ボールケース。水性で環境に優しく、再生紙としてリサイクル可能です。耐水・撥水、耐油、防湿など。

6.インキ集約の取り組み

全国段ボール工業組合連合会、全日本紙器段ボール箱工業組合連合会、印刷インキ工業会では環境配慮に向けて、段ボール印刷用フレキソインキの集約に取り組んでいます。2024年4月1日より補正色32色と特練色を、標準色18色に集約します。

インキ集約により廃棄ロスインキの削減やCO₂排出量の削減など、環境負荷に対する効果が期待できます。

廃棄インキの削減：1525トン/年。

CO₂排出量削減：4972トン/年。

7.さいごに

顧客の要望や社会変化に対応した包装提案により顧客感動につなげ、「心」までも包むパッケージメーカーして「モノ」「ヒト」「環境」に優しい豊かな明日を創造していきます。

講演および本誌掲載の機会をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

JPLCS関西支部・研究会会員 木野元朝幸
(セツカートン)

直近の研究会開催のお知らせ

【関西支部①】

日時：2月15日(木) 18:00～19:30

開催方法：会場(KITENA新大阪)、およびリモート(Zoom)による同時開催

参加費：一般2,000円

発表者：松井仁司氏(カネカ、当会会員)

発表テーマ：バイオプラスチックを巡る最近の動向(仮)

【関西支部②】

日時：4月18日(木) 18:00～19:30

開催方法：会場(KITENA新大阪)、およびリモート(Zoom)による同時開催

参加費：一般2,000円

発表者：野村幸弘氏(野村食品技術士事務所、技術士／農業、農学博士)

発表テーマ：物流時の食品の品質変化について(仮)

※会員以外(一般)の申し込み希望者は、開催日の10日前ごろまでに日報ビジネス包装編集部(本部分／関口：☎03-3262-3463、支部分／佐藤：☎06-6262-2402)までご連絡ください。